

平成31年度「早寝早起き朝ごはん」

フォーラム事業 推進校事業 のご案内

平成29年度より国立青少年教育振興機構と文部科学省は連携して、「早寝早起き朝ごはん」国民運動を促進するための地域のフォーラム事業と、中学生の基本的な生活習慣の維持・向上、定着を図るための推進校事業を実施しています。平成31年度においても以下のとおり委託先を募集します。

公募期間：平成30年8月27日（月）～11月19日（月）
委託先決定：平成31年1月上旬
事業期間：平成31年4月1日～当該年度の3月6日まで

1. 「早寝早起き朝ごはん」フォーラム事業

【目的】

子供たちの基本的な生活習慣の維持・向上、定着を図るため、その重要性を伝え、地域一丸となって取組を推進するための機運の醸成を図るとともに、「早寝早起き朝ごはん」等の活動を行っている各種団体等の交流の場を創設する。

- ◆委託先：都道府県教育委員会及び首長部局
又は実行委員会(青少年教育施設、地方公共団体、企業、NPO 団体等多様な機関・団体で構成)
- ◆予算額：17,000千円
(1か所あたり複数の都道府県域：300万円上限、都道府県域200万円上限)

《フォーラム事業取組事例》

- 専門家による講演会の開催
- 食、読み聞かせ等の体験コーナーの設置
- 学校など実践団体等の取組を発表しあう交流会の実施
- 参加者アンケートによる、意識の変容の検証

2. 「早寝早起き朝ごはん」推進校事業

【目的】

中学生の子供たちの基本的な生活習慣の維持・向上、定着を図るため、その効果的な手法等を開発することとし、推進校を設け、調査研究を実施する。

- ◆委託先：都道府県・指定都市・市（区）町村教育委員会又は学校単独
- ◆予算額：35,000千円（1校あたり：100万円上限）

《推進校事業取組事例》

- 就寝時刻や朝食摂取状況等の実態把握
- 朝学習や朝読書、料理教室等による啓発
- 専門家による講演会の開催
- 全校生徒へ変容調査等を実施し効果の検証

「早寝早起き朝ごはん」フォーラム事業・推進校事業事例紹介

【フォーラム事業（平成29年度）】

秋田県『早寝早起き朝ごはん』フォーラム事業【秋田県】

内容

- ・女優・エッセイストの中井貴恵氏による子育てや読み聞かせに関する講演
- ・食育、ネット健全利用、読書をテーマとした分科会の開催
- ・小学校での食育の取組等に関するブース展示
- ・参加者アンケートと終了後の「行動変容」に関する追跡調査の実施

参加者の声

- ・参加後、1日の生活時間をグラフ化し、ゲームができる時間を親子で相談した。
- ・分科会における参加者の「ガヤガヤタイム」が、新たなネットワークづくりに役立った。
- ・安心な食材や朝ごはんの品数など、これまで以上に食に気を配るようになった。



基調講演「豊かな心を育てるために」
（講師：中井貴恵さん）の様子



家族の読書推進分科会
「読み聞かせ実演」の様子



インターネット健全利用推進分科会
「ガヤガヤタイム」の様子

【推進校事業（平成29年度）】

睡眠教育を軸とした『家での7つのやくそく』推進事業

【堺市教育委員会／堺市立三原台中学校】

内容

- ・学期に一度、総合学習や保健体育の授業で「みんなく授業」を実施
- ・全校生徒への「睡眠朝食調査」とそれを踏まえた「みんなく面談」を実施
- ・毎月10日を「はよねるデー」とし、地域住民、子供会等も含めた地域全体で「みんなく」を実施
- ・教職員、PTA、地域住民を対象に「みんなくリーダー研修（年6回）」の実施

成果

- ・不登校生徒数の減少
- ・深夜0時以降に就寝する生徒の割合の減少
- ・授業中は学習に集中している児童生徒の割合の上昇
- ・自分のことを大切に思う児童生徒の上昇



みんなく授業の様子



みんなくリーダー研修会の様子



『みんなく』のすすめリーフレット

問合せ先：国立青少年教育振興機構教育事業部事業課

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号

電話：03-6407-7685 FAX：03-6407-7699

URL：<http://www.niye.go.jp/services/plan/hayanehayaoki/>

※要領、申請書等の様式は、このURLからダウンロードできます。